

柘植地域

まちづくりだより

第254号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局

三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

二〇二〇(令和二)年三月十五日(日)

柘植地域俳句コーナー

春一番

水仙の香と

運び来る

松尾紀子



今一度、一人ひとりが
再確認しましょう!
自主防災実行委員会

あなたはご存知ですか?
いざというとき、
どこへ避難するか?

柘植地域、4つの避難所の、
多言語避難所看板が
新調されました!

小杉区高齢者等
活性化センター



いがまち人権センター
& 老人憩いの家



柘植小学校

& 旧柘植保育園



柘植保育園

& 柘植中学校



もしも日本語
だけだったら...

旧表示板は伊賀町時代のものでは
り老朽化していたことと日本語表記
のみであったことから、伊賀市当局
へ要望を出していく中で、このたび
実現したものです。

2月後半、柘植地域内4カ所の
避難所入口付近に、「避難所であ
ることを示す多言語表記の看板」
が新調されました。

できることから、
準備をしていきましょう!

誰一人、取り残すことのない世の中をめざして!

道の駅いが&
伊賀サービスエリアにも
旅行者用防災看板を
新設しました。

3月9日(月)午前、国交省の協力
の下で名阪国道利用者向けの避難経路
を示す看板を設置することができまし
た。

道の駅いが等の利用者が、偶然、被
災することも想定されます。そんな人
たちも取り残すことがないよう
にとの願いで設置しました。

もしもドライブ途
中に被災したら...

上り
SA



「イネ」
タブ災す。
ンイ防で
セラの間も
民ド間も
市賀点も
地伊拠せ
植駅光さ
柘植観実
は、柘植を
組、柘植を
取、柘植を
のは、柘植を
こを、柘植を

道の駅いが



CSF (Classical swine fever)

CSFは、豚やイノシシの病気であって、人に感染することはない、また感染した豚の肉が市場に出回ることもありません。

仮にCSFに感染した豚の肉や内臓を食べても、人体に影響はありません。

農水省HP (Q&Aより)



詳しくは三重県(左QRコード)や農林水産省のホームページをご覧ください。

CSF(豚熱)経口ワクチン 散布が始まります。

「豚コレラ」あらため



これまで経口ワクチン(ト)がされることになりました。賀県甲賀市にて感染が確認され、県境付近にある地域において経口ワクチン散布(柘植地域10ポイント)がされることになりました。その後、2月25日に滋賀県甲賀市にて感染が確認され、県内では令和元年6月にFは、野生いのししへの感染拡大が続いており、いなべ市で感染が確認された。その後、2月25日に滋賀県甲賀市にて感染が確認され、県内では令和元年6月にFは、野生いのししへの感染拡大が続いており、いなべ市で感染が確認された。

3月6日(金)午後、阿山保健福祉センターで三重県行政より、これまでの経過・現状・対応策についての説明会(写真)がありました。有害鳥獣対策係が参加しました。



サル(伊賀Cグループ)の適正数管理と被害予知のため 捕獲を実施します



産業交流部会 (有害鳥獣対策係)

3月3日(火)午前、獣害対策に関わる関係者5人で地域内3カ所にサルの捕獲檻(ほかくおり)の設置を行いました。

20頭弱いる伊賀Cグループの行動を詳しく追跡できるようにするため、「発信機」をサルに装着するための捕獲です。しばらくの間、設置していただきますのでご注意ください。



三重県獣害対策ホームページ



お知らせ

4月から『まちづくりだより』の発行は、

毎月1回程度になります。

来月から、伊賀市広報の発行が月初めの一回となることから市との協定による配付業務も月1回が原則になります。それに伴い、まち協の広報も基本月1回にすることにしました。月2回を楽しみにしていた方には心苦しいところですが、これからも充実した内容をめざしつつ、ホームページを活用した広報にも力点を置いていきたいと思っております。なにとぞご理解よろしく申し上げます。

第8回雛人形展

令和最初の人形展

テーマは「ワンチーム」



今年度は、笑みの会による運営として、これまでの取り組みを引き継ぎ開催されました。

今年度はコロナウイルスの関係で、開催をどうするか悩み、PRはほとんどせず実施しました。



2月29日から3月3日までの4日間でのべ200人以上の方々がお越しになりました。会場では手指消毒・換気を徹底し実施しました。みなさんの喜んで帰っていただく姿を見て、やってよかったと思えました。会員はもとより、関係していただいた方、このような状況の中、お越し頂いたみなさんにお礼を申し上げます。

★★★事務局だより★★★

▼振り返ると1年があつたという間に過ぎていきました。▼柘植地域の少子高齢化、人口減少は明らか(250号参照)です。▼3月、市から「将来の支所のあり方」が示されました。数年の間に合併時に勝るとも劣らない変化が必ず来ます。心して将来に備えたいものです。(西田方計)